

## 太陽光発電設備などの設置費補助で温室効果ガス排出量を削減

### ○地球温暖化防止対策費／太陽光発電設備等設置費補助 721万5,000円

**【概要】** 太陽光発電設備単体または太陽光発電設備および蓄電池を設置した市民に対して、設置費用の一部を補助するもの。

**質疑** 補助金額の上限が121万6,000円であるが、その積算方法は。

**答弁** 太陽光発電設備の補助金額は1キロワット当たり7万円で、最大10キロワットまで補助をすることから、上限額が70万円となる。また、蓄電池の補助金額は1キロワットアワー当たり工事費込みで15万5,000円で、最大10キロワットアワーまでのうち3分の1を補助することから、上限額が51万6,000円となる。よって、太陽光発電設備と蓄電池の両方を設置した場合、これらを合計した121万6,000円が上限の補助金額となる。

**質疑** 申請のスケジュールおよび応募の受け付け方法は。

**答弁** 10月から申請を開始し、毎月抽選により交付対象者を選定する予定である。

**質疑** 予算は翌年度に繰り越しできるのか。

**答弁** 現時点において県からは、翌年度への繰り越しは不可能である旨を聞いている。年度内に交付ができなかった分については、県に返還することとなる。



太陽光発電設備

### 議案第70号 令和4年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

## 公共施設予約システムの利用実績

### ○公共施設予約システム運用費 78万9,600円

**質疑** 令和4年度の公共施設予約システムの利用実績は。

**答弁** 全てのスポーツ施設を合わせて1万5,088件の利用があった。ほぼ全ての利用者が自ら公共施設予約システムに入力しているが、窓口や電話で予約があった場合は、職員が内容を聞き取り公共施設予約システムに入力している。

**質疑** 公共施設予約システムで予約をする場合と、窓口や電話で予約をする場合の公平性はどのように保たれているのか。

**答弁** 窓口や電話で予約を受け付ける際は、職員が公共施設予約システムに入力するまでに先に公共施設予約システムによる他の予約が入った場合には、そちらが優先される旨を説明している。